

No. 1295

“種をまく人” 甲州へ

— 山梨県立美術館オープン —

本格的な秋を迎え、田園地帯は今、たわわに実った稲の収穫に忙しい。山梨県甲府盆地。この盆地のほぼ中央の甲府市郊外に山梨県民にとって待望久しかった美術館がこのほど完成した。この美術館は世界の名画、ジャン・フランソワ・ミレー作の「種をまく人」と「夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い」が展示されることで話題を呼んだ。11月2日、開館記念祝賀式典が一般公開に先きがけ約800人の関係者を集めて行なわれた。来賓の祝辞や祝電の披露があったあと田辺山梨県知事から千沢館長に美術館のカギが渡されいよいよオープン。続いて知事をはじめ各界代表10人がファンファーレに合わせてテープカット。

このあと招待客たちはヨーロッパの風景画を集めた企画展示室、ミレーやコローなどバルビゾン派の作品が展示されている常設展示室などを見て回った。「種をまく人」、「夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い」の両作品の前は前に進めないほどの成況ぶり。「すばらしい！」と感心する人や「種をまく人」は思ったより暗い感じ、など反応はさまざまだ。

だが世界の名画を目の当たりにした招待客たちは皆一様に興奮していた。この他山梨県出身作家の作品を一堂に集めた展示室を設けられ県民を楽しませている。山梨県置県百年を記念して造られたこの美術館、次の世代を担う若い人々の情操豊かな人間形成の場として大いに役だつことだろう。

総裁選スタート

“大平政権を是非実現しよう”と宏池会、大平派。福田首相との政権2年交たい密約説には「アー・ウー・エー」と歯ざれも悪い。ロッキード事件でたたかかれてもこれをハネ返して立候補は中曽根さん「私はタカ派だとか右翼だとか言われているが、名前のおり中道です」立候補がたち遅れたといわれる河本さん「三木前首相と同志の皆さんに推せんされて立候補します」。これら三人の挑戦を受けて立つ福田さん「三人とも立派な方です。常々から尊敬しています。」11月1日、自民党本部で立候補者の届け出が行なわれた。最初に河本通産相。代理人は三木派幹部、森山・海部の両氏。次に福田首相の代理、田中・村田の両氏。続いて大平幹事長。本人自からが提出。20名の推せん人の中には盟友、田中派の幹部の名前も見える。最後に中曽根さん。代理は中曽根派にもどった山中氏。大平派の決起大会であいさつする大平さん。酒だるを割り、氣勢をあげる。この時ばかりは“眠れる牛”を返上。「日本には底力があるこれを伸ばしていくのが政治だ」と河本さん。

総裁候補では一番若い中曽根さんは行動力を発揮。

美濃部さんも顔まけ、国民との対話を強調。支援者の波をかき分け歩くのは福田さん。「世界が福田を求めている」などのスローガンをかけ、他の三候補と争うのではないと言った雰囲気。約150万の自民党、党員・党友が直接参加する総裁公選予備選挙。わが国政党史上初めての試みは果してどんな結果を見るだろうか。